



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

2020年 12月5日 朝刊

記事を読んで、問いに答えなさい。
解答欄が足りない場合は裏面に記すこと。

①七面山敬慎院がし尿などの汚泥を不法投棄していた件が指摘されたが、自然環境への影響、特に富士川水系への波紋について考察せよ。



敬慎院の近くの谷に捨てられている車など、大量の産業廃棄物
11月中旬、山梨県身延町

汚泥250トン超 不法投棄

日蓮宗の「聖地」として白髮束の登詣者も多い七面山敬慎院（山梨県身延町）で長年、し尿などの汚泥計250トン以上を山中の穴に投棄し、同県と町が産業廃棄物処理違反の疑いがあるとして同院などを文書で行政指導していたことが4日までに分かった。近くに車やテレビなど産業廃棄物の不法投棄現場とみられる場所もあり、静岡新聞社の指摘を受けて県は追加調査に乗り出した。県は行政指導を発表していない。

山中に「し尿」行政指導



汚泥は宿坊に溜まった登詣者のし尿などを合併浄化槽で処理したもの。毎年認め、昨年8月就任の内野光督第123代
不法投棄があった七面山周辺

富士川水系へ影響危惧も

別当45は「当初堆肥」につながらない「穴を掘り、甲府市の業者がバキュームカー（2）で20程度に分けて投棄していた」という。業者は「寺から穴を掘っておくから埋めてくれ」と言われてやっていたと13年前から投棄してきたことを認めた。昨年8月就任の内野光督第123代行政指導は10月末。11月中旬、静岡新聞の記者教人が現地を取材し、投棄場所は宿坊から100m程度。響を危惧する声もある。上幸雄・前日本トイレ研究所理事長は「1970、80年代に山小屋ではおし尿を出すトイレ整備が進んだ。信仰と倫理観で入り込み、アユや駿河湾産サクラエビなどの不潔な汚泥が流入し、水質悪化が懸念される」と述べた。

②山岳地帯のし尿処理の問題は各地でも発生している。高額な費用をどのように解決したらよいか、現実的ではなくても良いので、高校生の自由な発想で提言せよ。

③し尿処理技術の発展の経緯をしらべ、今後、より環境に優しい処理の方法を考察せよ。



七面山の頂上近くにある敬慎院の本山で登詣者のし尿などの汚泥を十数年にわたって不法投棄していた七面山中の穴
11月中旬、山梨県身延町

七面山敬慎院 日蓮宗が最も大切な教えとする妙法蓮華経（法華経）信仰の聖地の一つとして名高い霊山「七面山」（標高1982m）の山頂近くにある寺院。日蓮宗総本山の身延山久遠寺（山梨県身延町）に属し、身延山を守護する鎮守神として七面大明神をまつ。全国から多くの登詣者が湧れ宿坊には年間2万人が宿泊する。境内から富士山、駿河湾などが一望できる。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石克巳（静岡高校 教諭）

（高校／国語）

<参考>①=環境学、地方行政学、倫理学に関する問題、②=経済学、環境学、建築学に関する問題、③=地方行政学、化学、工学、環境学に関する問題